

# 男女共同参画の視点からの防災

シチュエーションシート集



# 風水害①

- 日曜日の昼、あなたが自宅にいと、前日から降り続けている雨が次第に強くなってきました。
- あなたは、認知症の親と同居しています。あなたの住んでいる家は、土砂災害の恐れがあるエリアにあります。
- 避難準備情報が携帯メールに届いたので、家から800メートルほど離れた、避難場所に指定されている小学校へ親と歩いて避難することにしました。

## 風水害②

- あなたは、隣に住むAさんの家に寄りました。  
Aさんは、今年に引っ越してきた高齢の女性で一人暮らしです。  
呼び鈴を鳴らしましたが、返事がありません。
- あなたは認知症の親と一緒にいるため、あきらめて体育館に向かいました。  
向かう途中で消防団の男性たちに出会ったのでAさんの話を  
しましたが、Aさんが引っ越してきたことを知っている人はいま  
ませんでした。
- 体育館に着いて、しばらくしてからAさんを探しましたが、  
Aさんはまだ来ていませんでした。

## 気になるワード

「認知症の親」 「高齢の女性で一人暮らし」 「消防団の男性」

## 対策のポイント

1. 性別、年齢等にかかわらず、多様な住民に対して、防災知識の普及や訓練を行っているか。
2. 避難に支援を要する者の名簿を作成・共有し、災害時の避難誘導が迅速にできるようになっているか。
3. 消防団活動の担い手として重要な役割を果たす女性消防団員について、積極的な入団を促進し、女性の能力が発揮できるような環境整備を行っているか。

## 解 説

### 取組指針 1 事前の備え・予防（5）防災知識の普及、訓練

平常時において、災害への備えや、災害発生時における対応についての学習機会等を設ける際には、地域の多様な主体が参画することが必要。住民、企業、地域の施設や組織等が参加し、地域一体となって防災訓練を行う機会を設ければ、地域コミュニティの形成にもつながることが期待できる。

### 取組指針 1 事前の備え・予防（6）自主防災組織の育成等

男性だけでなく、女性も主体的に役割を担い、防災の担い手として積極的に活動することが重要。地域の消防団や自主防災組織において、女性が活躍できるよう環境整備を行うとともに、女性リーダーの育成を図ることが必要。